

北海道開発局と株式会社クリエイティブオフィスキューが 「北海道の魅力発信に向けた包括連携協定」を締結

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

- 北海道開発局と株式会社クリエイティブオフィスキューは、包括連携協定を締結し、より**緊密な連携体制を構築**しました。
- 本協定に基づき、互いの強みやネットワークを相乗的に活用し、**北海道の魅力発信に向けた取組**を推進していきます。

【開催概要】

日 時：令和4年4月19日（火） 13時30分～14時10分

場 所：cube garden（札幌市中央区北2条東3丁目2-5）

出席者：株式会社クリエイティブオフィスキュー代表取締役 伊藤 亜由美
国土交通省北海道開発局長 橋本 幸



(株)クリエイティブオフィスキュー

伊藤代表取締役からの挨拶



- エンターテインメントを通じて北海道の食と観光、地域資源の魅力を発信し続けたい。
- 当社は1992年創業。北海道にエンターテインメントを事業として根付かせたい思いから芸能事務所を設立し今年で30周年を迎える。2004年に演劇ユニット「TEAM NACS」が全国展開を始め、東京での仕事が増えたことで北海道の価値、魅力を再認識した。
- 北海道の一次産業は誇れるものであり、次の世代にしっかり繋いでいきたい思いから企画したテレビ番組「あぐり王国北海道」(HBC)が2008年に放送開始、同年には、地元アーティストを育成し**北海道から良質なエンターテインメントを届けたい**と多目的ホール「cube garden」を開業した。
- 映画「しあわせのパン」(2012年公開)など北海道映画シリーズ3作品は、**北海道の素晴らしさをもっと多くの人に知ってもらいたい**思いから企画。地域と連携して制作することにこだわり、3作目の映画「そらのレストラン」(2019年公開)では北海道開発局にも後援いただいた。
- 北海道にとって、景観の良さと食の魅力を**もっと北海道の人達が再発見できるように伝えていく事**が「世界の北海道」になるチャンス。
- 未来を語る上で歴史を知り次世代に伝えることも大事。開拓の時代から今日に至るまで北海道開発局が取り組んできたことを学び、**北海道の発展に貢献していきたい**。



国土交通省北海道開発局

橋本局長からの挨拶



- オフィスキューの強みである、文化やエンターテインメント等の発信力、また、幅広い発想力を学ばせて頂きたい。
- 1. 理念の共有
オフィスキューの理念である「北海道に根ざし、北海道の人々とともに、北海道から新しいストーリーを作りたい。食をはじめとする北海道の魅力に様々な角度から光を当て、地域が秘めたポテンシャルを引き出し、そして、もちろん私たち自身の知恵と力を振り絞って」は、**北海道開発局も同じ**であり、目指す方向を共有したい。
- 2. 発想の厚み
社会資本整備は「誰の、何に、どう役立つのか」を考える事が重要。オフィスキューのコンテンツ創造、プロデュース活動を通じた**地域活性の取組**などは、**私達の発想のウィングを広げてくれ、また、新しいチャレンジにも繋がっていくと期待**。
- 3. 文化の発信
アイヌ文化の振興や例えば、北海道遺産等のインフラの価値等を知って頂くためのアクションも重要。オフィスキューの取組を参考に勉強していきたい。
- 4. 開発局職員の気持ち(モチベーション)
今後の北海道開発局を担う若い職員達にとって、**オフィスキューとの連携は励みになりモチベーションの向上が期待される**。
- 今後の北海道の未来について一緒に考えていきたい。

北海道の魅力発信に向けた包括連携協定

CREATIVE OFFICE
CUE

株式会社クリエイティブオフィスキュー

考え方

クリエイティブオフィスキューの企業活動はいつも、**人の心と誠実に向き合う**ことから始まります。それはお客様の心であり、同時に私たちの心でもあります。

私たちは北海道に根ざし、北海道の人々と共に、北海道から新しいストーリーをつくります。

食をはじめとする北海道の魅力に様々な角度から光を当て、**地域が秘めたポテンシャルを引き出し**、そしてもちろん、私たち自身の知恵と力を振り絞って、**人の心を動かすエンターテインメントを生み出し続けます**。

役割や
強み

- ・日本全国に向けた**北海道発信のエンターテインメント**
- ・コンテンツ創造やプロデュース活動を通じた**地域活性**
- ・**北海道の食・観光等の魅力発信**



国土交通省北海道開発局

考え方

食料基地としての持続的発展、「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成のため、**食と観光を担う「生産空間」を支える**取組を進めています

役割や
強み

- ・北海道における河川、道路、港湾、空港、農業基盤、漁港といった**国の基幹的な社会資本の整備・管理**
- ・地方自治体や国の機関等との**行政機関のネットワーク**
- ・様々な地域づくりや観光・交流に関する**地域の取組との協働活動**

緊密な連携体制による取組

「北海道の魅力発信」に向けた取組を推進

連携項目

食や観光を通じた北海道の魅力発信

北海道の地域振興や地域活性化に資する取組

生産空間の維持・発展に向け両者が連携・協力することができる取組

直近の
取組実績と
当面の
取組予定

①ウポポイ（民族共生象徴空間）オフィシャルサポーター（令和2年7月から1年間）

○R2.7.12に開業したウポポイ（民族共生象徴空間）のオフィシャルサポーターとして、「TEAM NACS」が就任。様々な広報宣伝で活躍。

②「撮ってもいいね！北海道 動画コンテスト」審査員（令和3年度）

○TEAM NACS森崎 博之氏が審査委員として参加。令和3年7月1日から令和4年1月31日までの7か月間において、「北海道の魅力」や「インフラのちから」をテーマとして作品を募集し、531作品もの非常に多くの応募。

③「2050年の北海道の姿を考える懇談会」における発信（令和4年度予定）

○北海道に根ざし、北海道の未来を考えている代表者による「2050年の北海道のあるべき姿」について懇談。